

●児童福祉司

子どもの保護、その他子どもの福祉に関することについて、相談に応じ、専門的な知識や技術に基づいて必要な指導を行っています。

じっくりと話を聞き、親子が向き合えるように

非行や家庭内暴力、不登校などの問題を抱えた子どもを担当しています。まずは子どもの話をじっくり聴くことを心掛けています。訪問しても面会できない子どもには手紙を書いたりして、時間をかけて信頼関係を築きます。

なかなか心を開いてくれない子どもも、子どもの良いと

ころを見つけて認めてあげると、子ども自身が変わるきっかけになります。

保護者も、周りの人から親の責任だと責められたり、自分自身を責めたりして悩んでいます。一生懸命考えているけれども、親の思いが子どもに通じず、空回りしていることもあります。

じっくりと話を聴き、親子が向き合えるようにするのが私たちの仕事です。



島崎愛さん

●心理療法士

知能検査や性格検査など心理判定業務に携わります。

子ども目線で接し、これからを考えます

虐待を受けた子ども、非行など問題行動のある子どもの心理検査や、療育手帳のための検査などを行っています。心理検査を行い、子どもの発達の特徴や育ちを捉え、これからどうするかを考える手掛かりにしていきます。

保護者に、その子どもの性格や得意・不得意なことを伝え、子どもとの関わり方などを提案したり、一緒に考えたりします。そうすることで、これまで気付かなかった、子どもの成長の気付きや、子どもへの関わり方の変化につながるこ

ともあります。

虐待は子どもの心と体に影響を与えます。子どもは、暴力や暴言にさらされると暴力を学習し、他人に対して暴言や暴力を振うなどの不適切な行動をとることもあります。結果、子どもの問題行動に暴力で対応する悪循環に陥りがちです。しつけのつもりでの暴力がエスカレートし、虐待となるケースも見受けられます。早めにご相談ください。



青山慎史さん